

創立50周年記念

大田原管工事工業協同組合福祉車輛寄贈

給排水衛生設備や冷暖房空調設備、水道配水管などのライフラインの維持に努めてきた大田原管工事工業協同組合は、平成26年10月9日をもって創立50周年を迎えます。

その記念事業の社会貢献事業として、本市に福祉車輛が寄贈されました。この車輛は、管工事工業協同組合が事前に市民のニーズを調べ、それを元に寄贈の品を選択してくださったものです。

1/8



1/10

一年間の無事を祈って

大田原太子祭

建設業者の仕事始めとして大田原神社の境内で太子祭が開催されました。

建設業に関係のある職人たちが、鳥帽子(えぼし)・狩衣(かりぎぬ)の装束を身にまとい、一年間の無事を祈って、鋸(のこ)や手斧(ちょうな)などの道具を使い、長さ4メートル、直径40センチのスギの丸太を角材に仕立てました。

ダルマやお飾りの縁起物に心弾む

大田原花市

新春の恒例行事である花市が、大田原、佐久山、黒羽の市内3地区で開催されました。

会場では多くの出店が軒を連ね、ダルマや色鮮やかなお飾りなどの縁起物などを買い求める大勢の人でにぎわいました。

花市には市のマスコットキャラクター、与一くんも出かけていて、子どもたちは元気に与一くんとふれあいながら花市を楽しんでいました。

1/12



1/12

炎に祈る無病息災

どんと焼き(どんと祭)

御神火(ごじんか)にあたることで、一年の無病息災、家内安全などを祈るどんと焼きが開催されました。竹の爆ぜる音は災いを退け、高く上る煙に乗って正月の神様が帰ると言われています。

また、その火で繭玉団子を焼いて食べると、病気をしない、虫歯にならないといわれており、子どもたちは色鮮やかに作られた繭玉団子をほおぼりながら、楽しそうに一年の無病息災を祈りました。

地域伝統の風習を学ぶ

佐良土小学校とんぼだんご作り

子どもたちに伝統の風習を知ってもらおうと、「泉の会」の方々のボランティアの協力により、とんぼだんご作りが行われました。

とんぼとは家の戸のことを意味する言葉で、地域によっては繭玉とも呼ばれます。

1～2年生の子どもたちは、楽しそうに生地をまるめ、色鮮やかに作った団子で、ミズノキをきれいに彩りました。

1/15



1/23

最高峰の頭脳戦がここに

第63期王将戦七番勝負第2局

今年で9期連続となる王将戦の対局が、ホテル花月で行われ、渡辺明王将(右)と羽生善治三冠(左)が対決しました。

また、王将戦の開催に合わせて、前夜祭や大田原中学校生徒による対局見学、大盤解説会などが行われました。

参加者全員が最高峰の戦いを心ゆくまで堪能し、棋士の一手一手を噛み締めていました。

大豆から味噌を作ろう

親子味噌作り体験教室

大豆から味噌作りを体験することで、家族に食育や農作物の大切さを学んでもらおうと、大田原市農村生活研究グループ協議会が開催。当日は10組24名の親子が楽しく味噌作りに参加しました。

味噌作り後は、昨年作った味噌と地元の取れたて野菜を使った、けんちん汁や味噌おにぎりなどの料理がふるまわれ、みなさんでおいしく楽しくいただきました。

1/25



1/29

大田原マラソンを愛する英雄の誕生

大田原マラソングランドマスター賞表彰式

第1回の大田原マラソン大会から、昨年の第26回大会まで連続出場かつ最年長のランナーを、マラソンの部と10kmの部でそれぞれグランドマスター賞として表彰しました。

【マラソンの部】 笹沼守さん(右)、71歳、栃木県矢板市在住、たみや草遊会

【10kmの部】 高橋俊雄さん(左)、74歳、栃木県さくら市在住、Lions氏家

